

憲法

解答上の注意

1. 問題用紙は2頁、解答用紙は1枚、下書用紙は1枚です。
2. すべての解答用紙に、一橋大学の受験番号を記入してください。氏名は絶対に記入しないでください。
3. 小問1、小問2すべてに解答してください。小問1、小問2の配点比率は1：1です。
4. 解答は横書きにしてください。解答用紙の追加、交換はしません。解答用紙は、白紙である場合も含め、提出してください。
5. 解答用紙の余白は採点者が使用するので、誤字脱字の訂正のほかは使わないでください。
6. 問題の内容についての質問には、応じません。
7. 貸与した六法に、書き込みをしてはいけません。
8. 試験終了後、問題用紙と下書用紙は、持ち帰ってください。

問題

X は、Y 県立 A 高校の国語の教員であり、同校の文芸部の顧問を務めてきた。A 高校文芸部では、毎年、部活動の成果発表の場として、校費により「A 文芸」と題する冊子を作成し、卒業式の際に生徒や父兄、来賓などに配布してきた。A 文芸は一般には頒布されていなかったが、掲載された作品の質の高さが評判となっており、文芸部に所属していた卒業生が、大学在学中に若手作家を対象とした文学賞の奨励賞を受賞したこともあった。A 文芸に掲載されるのは、文芸部に所属する卒業年次の生徒の作品であるが、部員数が少ない年には、顧問の教員の作品が掲載されることもあった。

20××年、卒業年次の文芸部員数が少なかったことから、顧問である X も、10 頁ほどの短編小説を寄稿することとなった。Y 県では近年、大学進学の実績を上げるために県立高校の受験指導に力を入れていた。その結果、大学進学の実績は伸びたが、伝統校である A 高校では、自由な校風が失われているといった批判があり、また厳しい競争の中で精神疾患に罹る生徒が出るなどの問題も生じていた。進路指導を担当し悩みを抱える生徒と直接してきた X は、かねてより Y 県や A 高校が行う進学実績を重視した教育に疑問を抱いてきた。そうしたこともあって、厳しい受験勉強を強いる高校に反発した生徒を主人公とし、この主人公が、紆余曲折を経つつ自分の道を模索し、大学受験をやめて自分らしい生き方を選択するというストーリーの小説を書き上げた。小説の中には、主人公が不良グループと付き合い、深夜にバイクで暴走行為を行い警察に追われるといったシーンも描かれていた。

この作品は文芸部員には好評であった。また、X が同僚の教師に感想を求めたところ、いづれからも好意的な評価を得た。A 文芸は、校費により刊行されることから、事前に校長が内容に目を通し、校長の許可を得た上で印刷されることとなっていた。これまで許可が得られなかったことはなかった。今回も校長 B の許可が得られたことから、X は A 文芸の印刷の発注などを行った。

ところが、A 文芸が完成し納品された一週間後、X は B から校長室に呼び出され、このままでは A 文芸を卒業式で配布することは認められないと告げられた。X が納得できないとして理由を問い質したところ、B は、県立高校校長会後の懇親会で X の小説について話したところ、他校の校長から様々な批判的な指摘を受けたと述べた。ある校長からは、「暴走行為に参加し暴力団と接触する生徒がいたことから学校を挙げて対応をとってきた、教師が暴走行為を肯定していると取られかねない作品を執筆しその掲載誌を配布するのはいかがなものか」との指摘を受け、また別の校長からは、「教育委員会関係者も来賓として出席する卒業式場で、教師が県の教育政策を批判していると受け止められかねない冊子を配布するのは控えるべきではないか」と指摘され、その場にいた他の校長達も、概ねこうした指摘に同意した、というのである。そのうえで B は、職務命令として、X の小説が掲載された頁すべてを切除したうえで A 文芸の配布をおこなうよう求めた。これに対して X は、小説はあくまでフィクションである、また教師としての生徒へのメッセージでもあり、職務

命令には到底従うことはできないと抗議した。

Xは結局、職務命令に応じたが、どうしても納得がいかず、職務命令が違法であるとして国家賠償を求め出訴しようと考えている。

小問1 あなたは弁護士として、Xから相談を受けた。Xの立場からどのような憲法上の主張が可能か、検討しなさい。

小問2 Y県側からの反論を想定しつつ、あなたの考えを述べなさい。